

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 東京天文台 100 周年記念誌資料ーその 3-45ー (記念誌掲載写真の候補)**

筆者が引き継いだ東京天文台百年記念誌資料については、アーカイブ室新聞 346 号に「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 1ー」、349 号に「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 2ー」、353 号に「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 3ー」、という記事を書いた。これらの資料は段ボール箱 3 個に入っていたので 1 箱目をーその 1ー、2 箱目をーその 2ー、3 箱目をーその 3ーとしたのである。これらの資料についてリストのみでなく、内容を具体的に紹介する記事を書き始めたが、順不同で筆者が興味深いもののかってにピックアップして書いている。今回は 3 箱目の 45 項目について報告したい。第 353 号のリストには、

45. 4 つ切りバラ写真：オリオン大星雲、木曾シュミット望遠鏡、堂平 36 吋望遠鏡、岡山 74 インチドーム、木曾シュミットドーム、岡山太陽クーデドーム、6m ミリ波電波望遠鏡、PZT、3.6m 月レーザー受信望遠鏡

とある。オリオン大星雲が写真 1 である。これは掲載されていない。東京天文台百年記念誌には天体写真は 19 ページの昭和 9 年のローソップ島の皆既日食のコロナだけである。



写真 1



上 写真 2 下 写真 3



写真2は、資料Ⅲ-45にあった基礎観測所の105 cmシュミット望遠鏡であるが、カラー写真を白黒に焼いたものでひどく画質が悪く、掲載されていたのは写真3であった。木曾観測所シュミット望遠鏡ドームの写真もⅢ-45にあった写真4は採用されず写真5が掲載されていた。

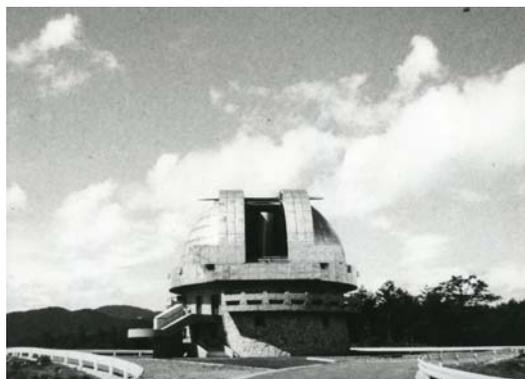


写真4

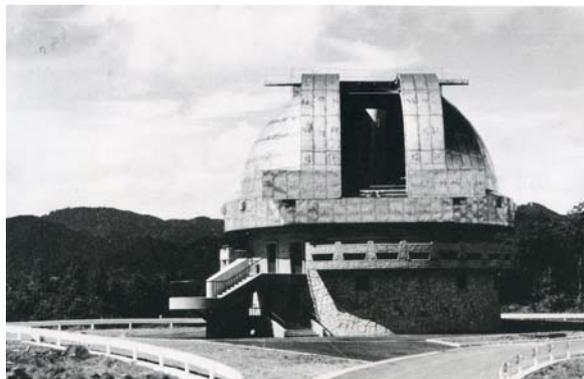


写真5

写真6の堂平観測所91 cm望遠鏡は採用され掲載されていた。この写真は珍しく分光器を搭載している。写真7は観測所の188 cm望遠鏡ドームの写真である。これも採用されず、岡山天体物理観測所の全景航空写真（写真8）が掲載されている。

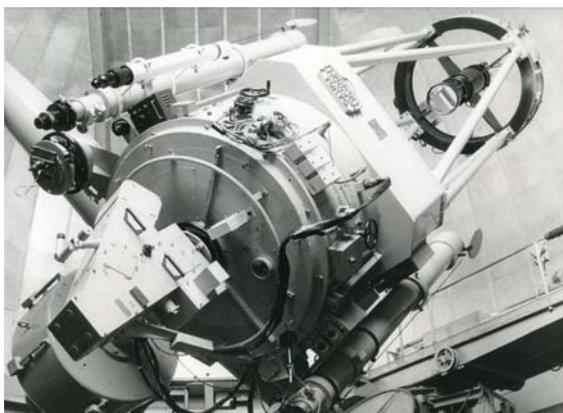


写真6



写真7



写真8

写真 9 は岡山天体物理観測所の 65 cm 太陽クーデ望遠鏡ドーム、写真 10 は三鷹キャンパスの 6m ミリ波電波望遠鏡であるが両方とも採用されていない。

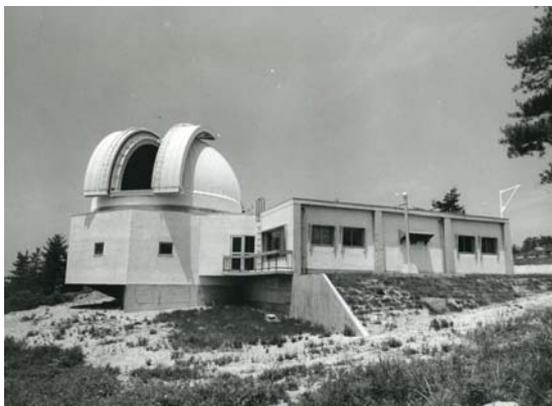


写真 9



写真 10

写真 11 がⅢ-45 にあった写真天頂筒 (PZT) であるが掲載されているのは写真 12 である。



写真 11



写真 12

写真 13 がⅢ-45 にあった堂平観測所の 3.6m 月レーザー測距儀であるが、掲載されてい



写真 13



写真 14

るのは施設前掲（写真 14）である。

このように、資料として残されてはいるが採用されなかった写真が多い。採用された写真はどこに保存されているのであろうか、気にかかる。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp